

令和8年2月三田市教育委員会定例会会議録

○開催日及び場所

令和8年2月26日(木)午後2時00分開会
午後3時27分閉会
三田市役所 南分館 601会議室

○議事日程

日程第1 開会
日程第2 前回会議録の報告、承認
日程第3 会議録署名委員指名
日程第4 会期の決定
日程第5 教育長の報告
日程第6 議事 議案第3号から第5号
日程第7 報告事項 報告第3号から第5号
日程第8 その他

○会議に出席した委員(5名)

1番	加嶋幸彦	2番	大野裕己
3番	三木尚美	4番	ルーベッシュ裕子
5番	中野文雄		

○説明のため出席した者(12名)

学校教育部長	山本直也	学校教育部次長	井上久敏 (兼学校再編担当)
学校教育部次長	久保修一	教育総務課長	井上尚博 (兼教育総務課担当課長)
学校再編課長	上野樹	学校教育課長	西浦健司
地域クラブ推進課長	藤田崇宏	教育支援課主幹	吉田君彦
教育研修所長	出藏裕昭	学校給食課長	宮城信之
幼児教育振興課長	神影保緒	文化スポーツ課長	畑信成

○代表学校長(2名)

中学校校長会代表	奥雅喜
小学校校長会代表	村岡智行

○会議に関係した事務局員(3名)

教育総務課	齊藤健史
	上仲あさ美
	清家梨奈子

○会議録署名委員

教 育 長 加 嶋 幸 彦

教 育 委 員 大 野 裕 己

日程第1 開 会

○教育長
(加嶋 幸彦)

ただいまから令和8年2月第328回三田市教育委員会定例会を開会いたします。

○教育長
(加嶋 幸彦)

本日、議案第5号「令和7年度一般会計3月補正教育予算案に関する原案の決定について」は未確定の情報を含んでいるため非公開とし、全ての議事及び報告等が終了した後に審議したいと考えますが、いかがでしょうか。

○教育委員

(異議なし)

○教育長
(加嶋 幸彦)

では、議案第5号は非公開とすることといたします。非公開案件の資料については後ほどお配りいたします。

日程第2 前回会議録の報告、承認

○教育長
(加嶋 幸彦)

それでは前回会議録の報告を事務局よりお願いします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

(令和8年1月29日教育委員会定例会会議録により説明)

○教育長
(加嶋 幸彦)

ご質問等ございませんでしょうか。
なければ、このように承認させていただきます。

日程第3 会議録署名委員指名

○教育長
(加嶋 幸彦)

それでは、会議録署名委員の指名に移ります。
会議録署名委員は、大野裕己委員にお願いします。

日程第4 会期の決定

○教育長
(加嶋 幸彦)

会期は本日一日、令和8年2月26日木曜日午後2時00分開会といたします。

日程第5 教育長の報告

○教育長
(加嶋 幸彦)

1) 三田祥雲館高校第2回SSH運営指導委員会

1月29日に三田祥雲館高校にて開催された第2回SSH(スーパーサイエンスハイスクール)運営指導委員会に出席しました。同校は、文部科学省スーパーサイエンスハイスクールの指定を受けて3期目4年目に入り、15年間指定を受け教育課程の研究開発に取り組んでいます。同校が、第1期、第2期で開校以来設置している学校設定教科「探究」の開発をベースに、海外の高校との共同研究、企業との連携による探究を行う科目「プログレス探究」の取組について報告がありました。令和5年度から取り組んできた、タイ王国にある高等学校や、大学での海外研修、共同研究、三田市内の食品会社等との連携による取組の紹介や、第4期に向けての方向性が協議され、委員である学識経験者、有識者、地元自治体の関係者からの助言、県教育委員会指導主事から指導助言がありました。報告の中で、現地への訪問や、オンラインのハイブリッドによる研究に取り組む生徒の様子から、充実感、達成感がうかがえ、学校関係者の地道な努力が伝わりました。

2) 三田市高校生議会

2月1日(日)三田市高校生議会が開催されました。当日は、市内の高等学校、特別支援学校等、8校22名の学生が参加し、三田西陵高校の生徒が議長を務めました。三田市からは、市長や質疑に関係する部長、市議会議長・副議長が出席しました。傍聴席には、市議会関係者、学校関係者、保護者、一般市民でほぼ満席でした。今年度は「住み続けたい、戻ってきたいと思える“希望”のまち」をテーマに、高校生議員と三田市職員との意見交換により、行政の現状や課題を学んだうえで作成した8つの提案(障害の有無に関係なく好きな時に好きなところに行けるまちづくり、グローバル化、地域の放課後学習会、特産物、コミュニティ、子ども食堂の

理解、交通手段、まちの魅力アピールなど)について、市長から講評するという形式で、高校生議長により進められました。時宜に叶った提案に、これからの三田を担う若い世代への期待がうかがえました。

3) 第4回三田市生徒指導等問題対策委員会

2月3日(火)に開催されました本委員会は、いじめ防止対策推進法が施行された平成25年に発足し、本市の生徒指導に係る問題対策に第三者から意見をいただき改善につなげる委員会です。今年度は、2022年の生徒指導提要、2024年の国のいじめ重大事態のガイドライン、県のいじめ対応マニュアルの改訂を踏まえ、本市のいじめ防止基本方針の改定に取り組んできました。特に、今回の改定では、委員会から「こどもたちの思いを具体的に示してはどうか」とのご意見をいただき、市内の小中学校児童生徒からのアンケートをもとに、子どもたちの思いを随所に盛り込んだ改正案で議論を重ねてきました。改正方針の策定に向けてとりまとめてまいります。

4) ひまわり特別支援学校研究発表会

2月5日(木)三田市教育委員会指定の特別支援教育研究発表会がひまわり特別支援学校で開催されました。当日は、教育委員の三木委員、中野委員をはじめ、県教育委員会や市内外の教職員の皆さんが参加されました。「課題を明確にした授業の実践」をテーマに開催され、午前は「自立活動」の研究授業、小学部での児童一人授業、中高等部での少人数生徒授業を参観しました。午後は研究授業への助言と講演ということで、同校の特別支援教育にご尽力いただいている、関西国際大学教授の梶正義先生をお招きし、先生方とともに、自立活動実施に係るポイントを中心に研修しました。子ども一人ひとりの障害の程度や特性を理解し、個に応じた指導を進めるために日々研鑽され、授業の工夫改善に取り組んでおられることが、子どもたちや教職員の笑顔などの表情や授業内容から感じ取れました。また、子どもたちとの関係性はもちろん、児童生徒にかかわる教職員相互の良好な関係性が重要であることを再認識し、小中学校の先生方にもぜひ参加していただきたい研究会でした。山口校長をはじめ、教職員の皆さんの日々の取組に改めて敬服しました。

5) 広野小学校国語科研究発表会

2月6日（金）広野小学校国語科研究発表会へ出席しました。広野小学校での国語科研究会では、2023年度から「ことばを使って豊かに表現するこどもたちの育成」をテーマに研究に取り組み、今年度は、より相手に伝わるように書く活動の指導を進めるべく、平素の取組を研究紀要にまとめ、研究授業、事後研究会、講演会が開催されました。当日は、市内外で約30名が参加され、1年生、4年生の研究授業後の分科会では、参加者から研究授業に関する建設的な意見が出て、参加者全員にとって充実した振り返りとなりました。講演会では、関西学院初等部教諭の上田庸子先生から、汎用性のある学びをめざした授業づくりについて、演習を含めてご講演いただきました。水谷校長をはじめ、教職員の皆さんの日々の研鑽に敬意を表します。

6) 三田ガクチカFES

2月8日（日）三田市で学生生活を送る高校生や大学生が集まり、生徒・学生が提案するまちづくりの発表と交流を目的に、本市と民間団体との共催によりウッディタウン市民センターにて開催予定でしたが、当日、大雪警報のため中止となりました。

7) 兵庫県市町村教育委員会連合会第2回理事会

2月12日（木）兵庫県市町村教育委員会連合会第2回理事会がひょうご女性交流会館にて開催されました。県内の市町教育委員会の教育長または教育委員の同会理事などが集まり、来年度、三田市で開催される「令和8年度定時総会・全県教育委員会研修会」に関することを中心に協議されました。「令和8年度定時総会・全県教育委員会研修会」は、令和8年5月18日、三田市において、県下の市町教育委員会の教育長、教育委員の参加で三田市総合文化センター郷の音ホールにて開催されます。

8) 令和7年度教育懇談会

2月13日（金）ゆりのき台小学校にて、教育委員会の教育委員と先生方との教育懇談会を開催しました。当日は、図工展や授業見学のあと、若手・中堅の先生方と懇談をしました。懇談会では、研究主任の先生から、探究的な学びに関する先進的なチームとしての取組や、授業力向上に向けての担当の先生方の地道で建設的な取組を紹介していただき、先生方への頼もしさを実感しました。試行錯誤の中、三田型探究

学習のノウハウが構築できることを期待しています。

9) 地域クラブ体験会・三田市美術展

2月15日(日)八景中学校において、地域クラブ体験会(吹奏楽)を開催しました。当日は、八景中学校と藍中学校の1、2年生の生徒合わせて30名と、保護者、学校管理職や吹奏楽顧問の先生方が参加され、音楽室や理科室での個人練習のあと合奏練習を実施しました。練習後、保護者対象の説明会では、今後の地域クラブに関する質問がありましたが、概ね活動趣旨に賛同いただいていたいました。吹奏楽については、4地区中学校での体験会が終了し、1、2年生生徒、延べ約150名が参加しました。終了後、三田市総合文化センター郷の音ホールで開催されている「第46回三田市美術展」と、併催している「第5回さとのねイラストコンテスト」に参加し、小学生以下の子どもたちの作品を見学しました。報告は以上です。

日程第6 議 事

○教育長
(加嶋 幸彦)

それでは本日の議事に入ります。

(1)学校教育及び社会教育に関する一般方針を定めることについて

【三田市教育委員会事務委任規則第1条第1号関係】

議案第3号「三田市いじめ防止基本方針の改定について」事務局から説明をお願いいたします。

○学校教育課長
(西浦 健司)

議案第3号「三田市いじめ防止基本方針の改定について」事務局から説明

○教育長
(加嶋 幸彦)

何かご質問、ご意見等ございますか。

○教育委員
(中野 文雄)

アンケート調査の結果を見ますと、全体の傾向として、いじめをしてしまう理由について、子どもたちの意見から実態が見えてきており、このアンケートの結果は学校現場にとっても大事な資料になると思います。子どもたちの気持ちが素直に出ており、不安定な心情もよくわかります。いじめを

なくすためにはどうすれば良いのか、きちんと理解できているけれども、心のコントロールが上手にできないのだということもわかります。その点をしっかりフォローしてあげることが必要であり、方針を改定するだけでなく、いじめが発生する前段階での予防をしっかりしていけるような学校づくりにつながる重要な資料として活用してもらいたいです。基本方針も丁寧にわかりやすくまとめていただきますので、これを日頃から子どもたちの学校生活に取り入れ、学校だけでなく、保護者、地域も含めて意識を高めていくことで、三田市のいじめ防止へ取り組む姿勢を示していけるとと思います。

○教育委員
(ルーベッシュ裕子)

部活動の地域展開が進む中で、地域クラブを担う指導者や責任者の方々に対しても、三田市のいじめ防止に対する取組としてこの方針は共有されるのですか。

○地域クラブ推進課長(藤田 崇宏)

年数回、地域クラブの指導者や責任者の方々向けに研修会を予定しており、今回の内容についても研修していきます。

○教育委員
(ルーベッシュ裕子)

地域展開の指導を担う方からは、いじめ問題への対応や責任に不安を感じておられる方がいると聞いています。これまで先生方が担ってくださっていた生徒指導の部分を、これから地域クラブの場で指導していく立場として不安を感じるのは当然かと思えますので、三田市の取組が同じように共有されると安心です。アンケートにある子どもが感じる不安な気持ちの部分について、現代の子ども達にとってAI活用も相談する選択としてあり、なかなか表面化しないのが心配です。AIとの会話で完結してしまうのではなく、学校の先生や、友達に話せるような関係性を大事にしてほしいと思います。

○教育委員
(三木 尚美)

アンケート結果が集約されたことで、子どもたちが感じていることをより具体的に知ることができますし、子どもたち自身も自分たちの気持ちの振り返りができると思います。また、年齢に関係なく未然防止につながるような材料がつまっていますので、関わる大人が知ることで、時代の流れに合わせて慎重に配慮しながら活用いただけたらと思います。

○教育委員
(大野 裕己)

アンケートの結果、生徒指導提要の改訂について適切に盛り込まれていると思います。子どもの思いが可視化され、大切にされることが明瞭に示されており、この基本方針が先生方の取組への後押しとなることを期待しています。また、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど専門スタッフと先生方とで構成されるいじめ対応チームが、組織対応のレベルを高めていくことで、保護者も学校の対応に安心することができますし、未来志向の子どもの育ちに向けての取組が広まれば良いと思います。

○教育長
(加嶋 幸彦)

他になにかご意見等ございますか。
なければ、このように承認いたします。

○教育長
(加嶋 幸彦)

(2) 県費負担教職員のサービスの監督その他人事の一般方針を定めることについて

【三田市教育委員会事務委任規則第1条第6号関係】

議案第4号「三田市教育委員会 業務管理量・健康確保措置実施計画の策定について」事務局から説明をお願いいたします。

○学校教育部次長
(兼教育総務課担当課長)(久保 修一)

議案第4号「三田市教育委員会 業務管理量・健康確保措置実施計画の策定について」事務局から説明

○教育長
(加嶋 幸彦)

何かご質問等ございますか。
なければこのように承認します。

○教育長
(加嶋 幸彦)

続きまして、議案第5号は非公開案件となりますので、全ての議事および報告等が終了後に審議いたします。

日程第7 報 告 事 項

○教育長
(加嶋 幸彦)

続きまして報告事項に移ります。
報告第3号「令和8年度社会教育関係団体補助金交付案に関する三田市生涯学習審議会の意見について」事務局より説明をお願いします。

○文化スポーツ課長
(畑 信成)

報告第3号「令和8年度社会教育関係団体補助金交付案に関する三田市生涯学習審議会の意見について」事務局より説明

○教育長
(加嶋 幸彦)

何かご意見やご質問等ございますか。
なければこのように報告させていただきます。

○教育長
(加嶋 幸彦)

続きまして、報告第4号「令和8年度当初予算の概要について」事務局から説明をお願いします。

○学校教育部次長
(兼学校再編担当)
(井上 久敏)

報告第4号「令和8年度当初予算の概要について」事務局から説明

○教育長
(加嶋 幸彦)

何かご意見やご質問等ございますか。
なければこのように報告させていただきます。

○教育長
(加嶋 幸彦)

続きまして、報告第5号「3月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明をお願いします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

報告第5号「3月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明

○教育長
(加嶋 幸彦)

何かご質問等ございますか。
なければこのように進めてまいりますので、3月もよろしく
お願いします。

日程第8 その他 の 報 告

○教育長
(加嶋 幸彦)

では、次回、3月の教育委員会定例会の日程について事務局からお願いいたします。

○教育総務課長
(井上 尚博)

3月教育委員会定例会の開催日時は令和8年3月26日(木)午後1時00分から、南分館601会議室で予定しています。よろしくお願いいたします。

○教育長
(加嶋 幸彦)

それでは、各校長からの報告です。中学校代表校長より報告をお願いいたします。

○中学校校長代表
(奥 雅喜)

○三田市中学校美術作品展

寒さの厳しい日々が続きましたが、春の気配も感じられるようになりました。2月14日から16日までの3日間、「三田市中学校美術作品展」をウッディタウン市民センターで開催しました。市内の公立・私立のすべての中学校とひまわり特別支援学校から、数々の作品が出品、展示され、保護者や市民の皆様に楽しんでいただけました。

○3年生の進路関係について

今月に入り本格的な受験シーズンが到来しました。10日の私立高校入試をはじめとして、国立高校や高等専門学校、公立高校推薦・特色選抜、特別支援学校高等部など、生徒たちは自分の夢の実現への第一歩として試験に挑んでいます。進路担当者会を中心に、次年度に活用するためここまでの結果の集約及び分析を行っています。また、公立高校一般入試のWEB出願の学校長承認が27日に締め切られ、3月4日には志願変更の学校長承認がWEBで締め切りとなります。3月12日が学力検査、19日が合格発表日となります。全員の進路が無事に決定するまで、生徒たちの不安な気持ちに寄り添いながら、最後まで丁寧な進路指導に努めたいと思います。

○卒業へ向けて

3年生は13日の卒業式まで、中学校での生活も残すところ15日となりました。卒業式の前日である12日には公立高校一般入試が控えていますので緊張の毎日となりますが、

「3年生を送る会」や「球技大会」といった卒業に向けたプロローグとなるイベントも予定されています。来週から卒業式の練習が始まります。卒業式当日はすでに受験を終えているので、生徒達には旅立ちの日を穏やかな心で臨んでくれることを願っています。義務教育9年間の最後の締めくくりにふさわしい、厳粛で思いのこもった式・最後の授業になるよう、生徒とともに準備を進めてまいります。次年度に向けての引継ぎ等もあり、慌ただしい毎日ですが、教職員がチームとして常に子どもを中心とした学校運営を心掛け、生徒達がこの1年の成長を実感できるようにしてまいりたいと考えております。今後も年度末まで精一杯教育活動に邁進してまいりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

○小学校校長代表
(村岡 智行)

○学校の様子について

全国的に1月下旬から、インフルエンザのB型が流行し、三田市でも多くの学校で学級・学年閉鎖を実施しました。2月下旬になり減少傾向にはありますが、まだまだ油断のできない日々が続いています。2月は、各小学校で本年度最後の参観日が行われました。保護者に子どもたちの成長した姿を伝えられるようにと様々に工夫した授業を行いました。また、その後に学級懇談を行った学校も多く、各学級でこの1年間の子どもの頑張りや成長を振り返り、保護者に伝えました。卒業式、修了式まであと3週間余りとなり、学校での授業日数は、6年生ではあと16日となりました。今週からは卒業式の練習も始まっています。悔いなくこの1年を終えるために、1日1日が充実したものとなるよう、集中した取組を進めているところです。

○感謝の気持ちを込めて

多くの学校では、2月下旬から3月上旬にかけて、最高学年として学校生活の多くの場面や行事でリーダーシップを発揮してくれた6年生に対して、在校生が感謝の気持ちを伝え、卒業を祝う「6年生を送る会」が開催されます。一方で、学校を支えていただいた地域のボランティアの方々に感謝の意を伝える「ありがとう集会」なども行われます。コミュニティ・スクールとして、家庭・地域と連携・協働して取り組む「地域とともにある学校づくり」を進め、年間を通じて多くの方に環境整備や登下校の見守り、学習ボランティア、ゲストティーチャーとして協力・支援をいただきました。さまざま

まな方との出会いや交流を通して、子どもたちに豊かな心が育まれていることを感じています。これらの会は、今の自分たちの学校生活が、多くの人たちの力添えによって支えられていることを再確認するとともに、その方々への感謝の気持ちを伝え、学校、地域への愛情を育てていく大切な会と捉えています。次年度に向けても学校や地域を愛する心を引き継いでいってほしいと願っています。

○年度末を迎えて

年度末であるこの時期は、今年度1年間の学校運営や教育課程の取組を振り返る学校評価を行っています。教職員による評価や保護者の評価、学校関係者評価等をもとに、成果と課題を明らかにしていきます。今年度の教育活動を検証することで、より発展させた学校運営や教育課程の編成につなげたいと前向きに考えています。次の学年、進学先にむけて期待と希望を持って4月を迎えられるよう、3月も精一杯取り組んでまいります。引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

○教育長
(加嶋 幸彦)

ありがとうございました。
それでは、ここからは非公開事案となりますので事務局関係者以外のご退室をお願いいたします。

《事務局関係者以外退室》

《非公開審議》

○教育長
(加嶋 幸彦)

それでは以上をもちまして教育委員会定例会を閉会いたします。